

第2次吹田市子ども読書活動推進計画（素案）に対する提出意見と市の考え方

- 1 意見提出期間 令和4年（2022年）9月20日（火）～令和4年10月20日（木）
- 2 意見提出件数 36件（9通）
- 3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

No.	分類 (件数)	提出意見（要約）	市の考え方
1	ブックスタート (2件)	・ブックスタートをしていただいております。他の市と違って、保健所ではなく、図書館に絵本を取りに来ていただく吹田のシステムにしては、良く受け取ってくださっていると数字が示しています。図書館の職員の対応もいいのだと思います。ただ、今後可能ならば、保健所も関わっていただけるともっといいかもしれません。	本市のブックスタート事業は、母子保健課、のびのび子育てプラザと市立図書館が連携して実施しています。今後も引き続き、乳幼児とその保護者に関わる所管と連携しながら、事業を進めてまいります。
2		・ブックスタート・ボランティアの方々のために講座をしていただいているのはありがたいです。ただ、絵本の選択に疑問を覚える場合もあります。	「ブックスタートのひろば」で読む絵本については、市立図書館で作成している年齢別おすすめ絵本リストの本を中心に、図書館で所蔵している本から選んでいただいています。また、ボランティア養成講座受講後の絵本の読み聞かせの活動においては、図書館司書がボランティアの相談に応じるなどのサポートを行っています。
3	学校図書館、 読書活動支援者 (学校司書) (15件)	・学校図書館の司書配置については、条件、手当、研修などもっと取り組んでいただきたい。	読書活動支援者（学校司書）は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。
4		・学校図書館を”読書センター”だけでなく”学習センター”としての機能を持たせるには、調べ学習用の資料を揃えなければならず、そのような書籍は値も張る為、図書費の増額は避けられないと思います。豊中市に比べても低過ぎます。	学校図書館の読書センター、学習センター、情報センターとしての機能が充実するよう、学校と連携して資料の充実に努めてまいります。

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
5	学校図書館、 読書活動支援者 (学校司書) (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆が図書館に行く事が出来る環境にはないという事実を受けとめ学校の図書室の充実を望みます。 ・ 読書支援者も研修に参加できる様、参加資格の拡大。就業時間を正規職員同等に。 ・ 夏季休業時の図書室の開館。 	読書活動支援者(学校司書)は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。
6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書に対して、読書支援者にいたいただき、子どもにもとてもよいと思っています。読書にかかわる人との連携や計画をするためには、共に働く主要な存在として、専任のコーディネーターになっていただくなど、人をふやし、読書活動を重視できる環境や教育風土ができていくとうれしいと思う。 	各小・中学校で読書活動支援者の活用計画を作成し、学校図書館の充実に取り組んでいます。引き続き、各学校への支援を行ってまいります。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習センター、情報センター、読書センターなど、多様なニーズをにう学校図書館を目ざしたい。そのために、場所や、絵や写真の本、図や表などの資料などが読書できる本を新たに整え、学校図書館で手にとってふれることができるよう、予算や人手が必要だと思う。 	学校図書館の読書センター、学習センター、情報センターとしての機能が充実するよう、学校と連携して資料の充実に取り組んでまいります。
8		<p>読書支援員の勤務時間について 〈現行〉 9 : 45 ~ 16 : 30</p> <p>クラス数の増加はもちろん、多様な教科での調べ学習等、図書室の利用の機会を確保する為、1時間目開始に間に合うよう、更に放課後の教員の教材研究や、教科に関する打合せに資するよう、8 : 30 ~ 17 : 00と改める。</p>	読書活動支援者(学校司書)は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。
9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の機会について 〈現行〉 殆どの研修は教員を対象としており、読書支援者を対象に含む研修は多くない。学校図書館の業務の多くを担う読書支援者のスキルアップは、児童生徒の言語能力向上、読書活動の推進に直結している。活動内容やスキルに踏み込んだ研修によって、吹田市全体の学校図書館を活性化する。 	読書活動支援者(学校司書)は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
10	学校図書館、 読書活動支援者 (学校司書) (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館と学校図書館との定期的な会合を持ってください。一人職場でがんばる「読書活動支援者」が積極的に仕事ができる環境を作っていくためにも、公共図書館との連携が何よりと考えます。 	<p>市立図書館は、地域における読書活動推進の中心的な役割を担うものとして、学校や保育所・幼稚園等、地域の子供に関わる団体などと連携して子供の読書環境の整備を進めます。公共図書館と学校図書館との連携の一環として、市立図書館では「図書室訪問」、「学校図書館サポートプログラム」等を実施しています。定期的な会合については今後の課題と考えています。</p>
11		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備 本棚・床などが老朽化していて、日々の清掃や修理のみでは改善できません。特に低学年図書館で使用しているパズル式マットは「汚れ・破損・滑る」で危険もあるため取替えが急務です。各学校の図書館をご視察いただき、具体的な修繕計画を立てていただきたいです。 	<p>本棚やマット等の環境整備は各小・中学校が行うものでありますが、学校図書館のよりよい環境づくりを進めるよう、各学校に対する支援を行ってまいります。</p>
12		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の蔵書の改善 「学習センター」「情報センター」としての機能充実のため、先生や児童に必要な資料を必要な時に提供できるような蔵書構築、児童の読みたい気持ちを後押しするような本の購入が通年できるよう図書購入費の増額をお願いしたいです。 	<p>学校図書館の読書センター、学習センター、情報センターとしての機能が充実するよう、学校と連携して資料の充実に努めてまいります。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
13	学校図書館、 読書活動支援者 (学校司書) (15件)	<p>・学校図書館を利用した教育について、管理職、司書教諭、教諭、読書活動支援者を対象にして、研修を行ってほしいです。管理職が図書館や資料について知識がないと、学校全体で学校図書館を利用した教育が行えません。司書教諭や教諭も知らなければ授業に組み込めません。そして、学校図書館の資料に精通している読書活動支援者も、研修をしないと、利用教育や調べ学習で支援できる人材には育ちません。本の専門家であっても、教育の専門家ではないからです。読書活動支援者を育てれば、もっと、超多忙な先生方の助けになることができます。</p> <p>読書活動支援者にも、研修権が必要です。先生たちが学研で学ぶように、読書活動支援者同士で集い、力を合わせて学び、吹田市のどの学校に先生方が転動しても同じサービスを受けられるよう、全体のレベルアップを図ることが急務です。読書活動支援者に学習できる場を作ってください。</p>	<p>読書活動支援者（学校司書）は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。</p>
14		<p>・現在、学校図書館の資料費はとても安く、必要な本を揃えることができません。SNSの良い面悪い面、情報リテラシー、著作権などが解る本、一人一台となったタブレットを使いこなすために役立つ本、いじめ問題や世界情勢などが解る本、授業で学ぶことに関連のある本、授業での学びから一歩先を行く本、教科書で紹介されている本、楽しみや心のひだをつくる本、など、児童生徒に必要な本は幅広く必要です。同じ分野でも、低学年と高学年など、理解度に合わせた本も必要になります。</p>	<p>学校図書館の読書センター、学習センター、情報センターとしての機能が充実するよう、学校と連携して資料の充実に努めてまいります。</p>
15		<p>・学校図書館にもWi-Fi環境が必要です。現在調べ学習で来館しても、Wi-Fi環境が整備されていないため、学校図書館では本とネットを併用して調べることができません。</p>	<p>各小・中学校の学校図書館の実態把握に努めるとともに、Wi-Fi環境の整備について検討してまいります。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
16	学校図書館、 読書活動支援者 (学校司書) (15件)	<p>読書活動支援者は現在長期休暇中の勤務がありません。けれども勤務があれば、蔵書点検などの環境整備や教職員研修で先生方と勤務校の学校図書館について学ぶことも可能になります。年度初めに、転勤して来られた先生方に、学校図書館について紹介したり、システムの研修に役立ててもらえることできるようになります。年度初めは、勤務があれば、春休み中に利用者コードの準備もできるため、始業式の日から、貸し出しや、隙間時間の自由読書、オリエンテーションなどを行うことも可能となります。入学式用に、一年生に読み聞かせする本や紙芝居を用意する、その読み聞かせを読書活動支援者が行うこともできるようになります。</p>	<p>読書活動支援者（学校司書）は、児童、生徒の学習活動にかかわる支援や学校図書館の学習環境整備にかかわる支援を担っており、学校図書館の充実を図るためにも、その任用については、各小・中学校の実態把握に努め、より良い在り方を検討していく必要があります。</p>
17		<p>情報とそのもとになるものは信頼できるのかを見極める能力をつけること、それを児童生徒につけるには、教職員がまず身につけなければなりません。本はその情報の信頼度を見極める能力を身に着ける入口になります。著作権は著作権だけを守るものではありません。複数の本で調べ、その本に書かれている参考文献や著者略歴を見て、情報の精度を見極める能力をつけるのに、学校図書館は第一歩となります。その学校図書館で、参考文献をきちんと書きながら、根拠を示し、自分の意見を構築できる児童生徒を育てるため、読書活動支援者が学校司書として、チーム学校の一員となることができるよう、読書活動支援者の環境整備もよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>デジタル媒体や本など、さまざまなメディアから情報を集めたり、整理・分析したりする力は大切なことだと考えています。デジタル・シティズンシップ教育に加え、学校図書館を活用した授業づくりを進めることで、これらの力を育成する取組みを進めています。そのためにも、各校において読書活動支援者の活用計画を作成し、学校図書館の効果的な活用にも努めていますので、引き続き、各校への支援を行ってまいります。</p>
18	学校連絡便 (4件)	<p>・図書館からの便（ごりまる便）の増便、団体貸出しの際の貸出し冊数の上限引き上げ（40冊は少なすぎる）及び撤廃。</p>	<p>学校連絡便の増便については、今後の課題と認識しています。1テーマにつき40冊の上限設定については、同時期に複数の利用を見込むための適切な設定と考えています。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
19	学校連絡便 (4件)	<p>・昨年より、公共図書館からの資料運搬が始まったことは喜ばしいことです。ただ月1回では子供たちのリクエストや調べ学習、先生方の要求にも十分に答えられません。豊富な資料があつてこそその学習支援となります。</p> <p>学校間の運搬を含めて せめて月2回の資料運搬にしてください。</p> <p>豊かな子どもの育ち、学びを支えるためには、公共図書館との連携は何より重要です。吹田の図書館はとてもいい運営・活動をされています。他市と比べてもとても誇れます。それに見合う学校図書館の活動を願います。</p>	<p>学校連絡便の増便及び学校間の連絡便については、今後の課題と認識しています。</p>
20		<p>・市立図書館からの定期便の増便</p> <p>学習に合わせての利用、児童からのリクエストに応えるため、週1便もしくは月2便にしていきたいです。また、一般利用者と同じように学校からも直接予約できるシステムや児童に貸出できるシステムになると利用しやすいです。</p>	<p>学校連絡便の増便、予約方法の検討については、今後の課題と認識しています。</p>
21		<p>・現在、市立図書館と学校図書館間の連絡便は月に一回です。けれども子どもたちの学びに寄与するには、少なくとも週1回は必要です。増便を早急に叶えてください。現在は使用する資料の大半を、読書活動支援者が自転車等で運んでいます。一回に運ぶことができる冊数には限界があるため、十分な本を揃えることができません。また、せっかく他校の蔵書が解るので、学校間の連絡便も作ってください。蔵書を有効利用できるようになります。(それには、読書活動支援者同士のつながりも必要です。面識がないのに依頼できません)。学校間でも貸し借りができれば百科事典の利用教育を行う時など十分な冊数を準備できるようになります。</p>	<p>学校連絡便の増便及び学校間の連絡便については、今後の課題と認識しています。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
22	情報リテラシー、デジタル・シティズンシップ教育 (5件)	<p>・デジタル化が進んでも読書環境を整えることはとても大事です。子どもたちのリテラシー能力をより豊かにするために読書環境を整備、そのための公共図書館との連携いをすすめてくださることで。</p>	<p>デジタル世界を公共の場をとらえ、よりよく生きるために立ち止まって考え行動する力を育成するために、吹田市ではデジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます。また、公立図書館との連携を図るため、子供たちの学習者用端末で公立図書館の電子図書を閲覧・貸出ができるシステムを整備しました。今後は、各小・中学校と連携して、子供たちがさまざまな方法を使って書籍に親しむことができるよう努めてまいります。</p>
23		<p>デジタルシティズンシップ教育の中で、自他を大切にすることや信頼できる情報かどうかを見極めることは、とても重要なこととなっているかと思いますが、調べ学習で参考文献を書くなどの具体的なこととリンクしていない児童生徒がとても多いように思っています。先日の千里山コミュニティーセンターで行われた科学展でも、参考文献やどのサイトで調べたのか全く分からない発表が大半でした。情報があふれている昨今。どの情報が正しいのか、フェイクは何か、見極めることは大人でも難しいのが現状です。子どもたちが、自他の権利である著作権を大切に守り、正しい情報にたどり着けるよう、正しくない情報に騙されないよう導くため、デジタルシティズンシップ教育を他自治体より早く取り組み始めた吹田市を、私は誇りに思っています。それだけに、落差の大きさに不安を覚えています。</p>	<p>情報を正しく見きわめたり、立ち止まって、考え、行動したりする子供の育成を目指し、昨年度よりデジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます。デジタル・シティズンシップ教育の授業で身に付けた力が、さまざまな学習活動や生活場面に生かすことができるよう、今後も教育活動を進めてまいります。</p>
24		<p>インターネットは読書の敵ではない。</p>	<p>本計画においては、本だけでなく、電子媒体を読むことも「読書」と位置付けています。子供たちが図書やインターネットを使って情報を収集、整理・分析、まとめ・表現する力（情報活用能力）を育成する取組を行ってまいります。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
25	情報リテラシー、デジタル・シティズンシップ教育 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児はことばを母から知るが、小学校からはテレビ、SNSなどでことばを知る。 	<p>子供にとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものと考え、子供の読書環境の整備に努め、読書活動推進のための取組を進めていくために本計画を策定するものです。</p>
26		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が情報リテラシーを教えてくれるのなら一般市民にスマホリテラシーも教えて下さい。 	<p>本計画は、子ども読書活動推進を対象としており、一般市民向けの対応については対象外であると考えます。</p>
27	国際化 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者、検えつ者が多様化ということばを好んで使っているが、国際化による多様化の部分が抜けている。(子どもの視点からの国際化) <p>第一章社会情勢の変化→情勢の見方が違うように思う。(私は)</p> <p>「人との接触を避けることから(親子関係が強固になり、また一人で過ごす孤独化が進み)」</p> <p>「地域のつながり」→コロナのせいではない、コロナの前から元々ない、10年ぐらい前からなくなっている。</p>	<p>地域のつながりや人間関係の希薄化については、コロナ禍によって一層進んだものと考えていますが、コロナ禍前の状況も加え、子供の視点からの国際化に関する点と合わせて、記述を工夫いたします。</p>
28		<ul style="list-style-type: none"> ・国際化に向け各図書館に外国語本コーナーを設置。 	<p>市立図書館では、子供たちの読書の選択肢が増えるよう幅広い資料の収集に努めています。外国語図書については、英語を中心に各図書館(分室を除く)にコーナーを設置するとともに、電子図書についても積極的に収集しています。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
29	その他 (8件)	<p>・図書館の中央館を除いて、各館では、カウンターが委託になっています。カウンターは市民が図書館の人に出会う場であり、図書館職員としては市民に出会う場であり、よりよい図書館の仕事をしていただく上では、大事な業務です。吹田の図書館職員は本当にいい仕事をしてくださっています。もっと良い仕事をしてくださって、とりわけ、子どもたちへの対応を考えると、カウンター業務は、職員が直接行う方向で「取り組んで」いただきたいです。吹田の図書館は、大阪府の中でも有数です。(本当です。)カウンターが職員担当となれば、もっと良くなります。子どもたちの読書活動のためにも(図書館に行けば、3年毎に代わる委託業者ではなく、吹田市に強い愛着と希望を抱いている委託の職員ではなく、吹田の図書館のことを考えて仕事をしてくれる職員がいつも対応してくれる)お願いします。未来の吹田市民を育みます。</p>	<p>市立図書館においては、調べものや相談業務等、市の職員がカウンターで対応しています。カウンターだけでなく、行事の開催時など様々な機会をとらえ、子供たちの読書活動の推進に取り組んでまいります。</p>
30		<p>・保育園・幼稚園・こども園でも子どもの読書活動のために、研修をしたりして取り組んでおられるそうですが、吹田市のそういう施設でそういう取り組みをされていることを聞いたことがありません。幼い子どもたちに毎日接する園の職員たちに、子どもと絵本を結ぶことの大事さをもっと研修していただきたい。 (私は、吹田市の共同参画センターの子ども支援者さんたちの研修に毎年伺っています。以前は、保育園・幼稚園の先生方への研修にもよく伺いましたが近年はありませんので、どのような読書活動の研修が毎年されているのかと思いました。)</p>	<p>教育・保育施設職員を対象に、図書館司書や大学教員等を講師とした研修を実施しています。園児の絵本との触れ合いの充実を図るため、職員自身が絵本との出会いを大切にしながら、自己研鑽に励むことができるよう、環境整備に努めてまいります。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
31	その他 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3土曜日、おはなし会をしています が子供たちがあつまりにくくなっている ようです。コロナ禍の数年で不安感がある のでしょうかまた、みんなが図書館を 楽しく利用できるようなれるといいな と思います。 	<p>おはなし会等の行事については、社会情勢や子供たちの様子を見ながら開催方法やPR方法を工夫してまいります。</p>
32		<ul style="list-style-type: none"> ・読書をするメリット、デメリットの評価が抜けている。 	<p>子供にとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものと考え、子供の読書環境の整備に努め、読書活動推進のための取組を進めていくために本計画を策定するものです。</p>
33		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の取組みで知っているのは本の貸し出し業務ぐらい。 	<p>貸出業務以外のサービスについて、広く市民に知っていただけるよう、ホームページの情報発信などPRに努めてまいります。</p>
34		<ul style="list-style-type: none"> ・本の購入は市民の要望も入れるべき。 個人的な意見ですが、幼児にお母さんが 絵本を見せている場面が大好きです。 	<p>読みたい本を御予約いただくことで市民の方の御要望の把握に努めています。また、御利用の多い図書は同一の図書を複数冊購入するなど、利用状況も参考にしながら図書の発注を行っています。</p>
35		<ul style="list-style-type: none"> ・語句解説から読んで下さいと最初に書いとくべき！ けれどわけのわからん造語だらけで意味を 理解するのにどれだけ時間がかかる これは、市民図書館関係者が読んだらお わりか？ 	<p>解説がある語句には下線を引いています。語句解説があることを目次のページに注記で明示するなどの工夫を追加いたします。本計画は子供の読書活動推進の取組について本市の方針を整理したものですので、今後は本計画に則って子供の読書活動を進めてまいります。</p>

No.	分類 (件数)	提出意見 (要約)	市の考え方
36	その他 (8件)	<p>「本市には地域における子供の活動場所となる施設として、児童会館、児童センター、青少年クリエイティブセンター、子育て青少年拠点夢つながり未来館、自然体験交流センターなどがあり」→ほとんど市民に知られていないし使われていない。</p> <p>知っているのは図書館で本をかりれることだけ！！</p> <p>他の施設はほとんど知られていない”はこの施設”</p>	<p>地域における子供の活動場所となる施設につきましては、多くの子供たちに御利用いただいておりますが、更に多くの市民の方に御利用いただけるように努めてまいります。</p>